

事前評価個表

整理番号	27
------	----

地域（地区）名	こか せがわ 五ヶ瀬川	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	宮崎県	対象市町村	のべおか 延岡市ほか3町
事業実施期間	R6年度～R10年度（5年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合等

事業の概要・目的	<p>本地区は、県の最北部に位置し、東臼杵・西臼杵の2地域1市3町からなっており、北西部に祖母山、傾山、大崩山、南西部に向坂山、小川岳等1,000mの山々が連なり、一般的に急峻な地形となっている。</p> <p>民有林面積は112千ha、そのうち人工林面積は58千haで人工林率52%を占めている。樹種別ではスギが人工林面積の64%、年齢別では10～12年齢が50%を占めており、高齢級の林分の割合が大きく森林資源は充実している。このため、近年では、製材工場が大規模化するなど木材需要が拡大し、それに伴い伐採量は増加しており、主伐後の確実な再造林が必要となっている。</p> <p>このように本地区は本格的な収穫期に入っていることから、豊かな森林資源を効率的に活用しつつ、確実な再造林を進めることで、「伐って、使って、すぐ植える」資源循環型林業を構築するとともに「森林の若返り」による年齢構成の平準化を進め、健全な森林を育成していく必要がある。</p> <p>本事業は、森林資源の循環利用及び水源涵養など森林の果たすべき役割に応じた適正な管理を進め、森林の有する多面的機能の維持増進を図るとともに、成熟した森林資源の有効活用による木材の安定供給を確保するため、植栽等の更新作業や間伐等の保育作業といった森林整備と併せ、路網整備を一体的かつ計画的に実施するものである。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：10,289ha 人工造林、下刈り、除伐、間伐等</p> <p>路網整備：4,054m 林道開設</p> <p>総事業費：4,444,844千円（税抜き 4,040,767千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C=5.30</p> <p>（総便益（B）=30,914,859千円、総費用（C）=5,830,533千円）</p>

評価結果	<p>必要性： 水源涵養等の公益的機能の持続的な発揮や木材の安定供給の確保が求められている地域であり、更新作業や保育作業等の適切な森林整備が必要であることから、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性： 効率的な森林整備の実施に不可欠な路網整備を一体的に実施する計画となっており、費用対効果分析の結果からも、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性： 五ヶ瀬川地域森林計画に則した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する多面的機能の維持増進が図られることが期待されるため、事業の有効性が認められる。</p>
------	---

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：宮崎県

地域(地区)名：五ヶ瀬川

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	7,772,112	
	流域貯水便益	2,397,897	
	水質浄化便益	9,162,284	
山地保全便益	土砂流出防止便益	6,348,380	
環境保全便益	炭素固定便益	1,518,712	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	7,170	
	木材利用増進便益	23,957	
	木材生産確保・増進便益	3,138,548	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	310	
	森林管理等経費縮減便益	19,867	
	森林整備促進便益	400,073	
災害等軽減便益	災害時迂回路等確保便益	125,549	
総 便 益 (B)		30,914,859	
総 費 用 (C)		5,830,533	
費用便益比	$B \div C = \frac{30,914,859}{5,830,533} = 5.30$		

森林環境保全整備事業 五ヶ瀬川地域 (宮崎県) 概要図

凡例	
計画区界	黒線
事業区域	緑線
整備区域	赤線

